

HTML TIPS & TRICKS

第 27 回

誰よりも早く 最新のHTMLを使ってみたい

藤井 幸孝 川田 哲 大内 勇

ついにIE 5の正式版が登場した。IE 5にはボタンやアドレスバー、履歴や検索に関する機能だけでなく、HTMLやスタイルシート、JavaScriptにも新しい機能が続々と追加されている。この連載でもすでに2か月前からIE 5のテクニックを紹介しているが、ようやく自分のページでもそれが実際に使えるようになったわけだ。それでは今月もさまざまなTIPSとTRICKを紹介しよう。



CD-ROM収録先 A Magnavi Ip9905 HtmTips
今月号のTIPSをすべてCD-ROMに収録!

このコーナーを楽しむために

最新のHTMLを使う際に、どうしても避けて通れないのがWWWブラウザの互換性の問題だ。そこでこのコーナーでは、TIPSごとにブラウザの対応状況をアイコンで表している(3月10日現在)。これを参考に使用するWWWブラウザを選んでほしい。



インターネットエクスプローラ3.0以上



インターネットエクスプローラ4.0以上



インターネットエクスプローラ5.0以上



ネットスケープナビゲーター3.0以上



ネットスケープナビゲーター4.0以上



4月号「HTMLパズルに挑戦しよう」の解答

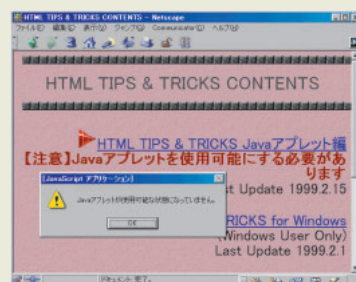
ブラウザの種類やバージョンの識別と同様に、navigatorオブジェクトを使えば簡単に解ける問題だった。ほかにもnavigatorオブジェクトでは、プラグイン、言語(英語や日本語)、MIMEタイプを使った判別などできるので挑戦してみよう。それでは、解答を発表する。



ANSWER ① Javaが使用可能か判別せよ!

javaEnabledメソッドを使ってJavaが実行可能かどうかを調べる。javaEnabledは実行可能ならtrue、実行不可ならfalseを返す。

```
<SCRIPT LANGUAGE="JavaScript">
function checkjava() {
  if (navigator.javaEnabled() == true)
    location.href="tipsjava.html";
  else alert("Java アプレットが使用可能な状態になっていません。");
}
</SCRIPT>
<A HREF="javascript:checkjava();">HTML.....</A>
```



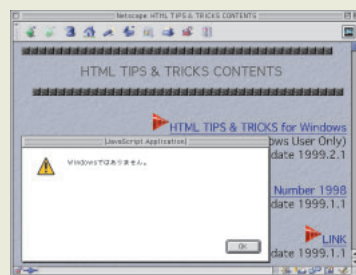
正解者: 熊本芳朗、加島佳代子、池永達美、杉本敬治、azuma、いのうえ、佐伯衛、堀江、田中博英、鹿倉隆、うおまさ@home、廣瀬道雄、齊藤貴志、広末宜之、阿部香(敬称略)



ANSWER ② OSを判別しろ!

platformプロパティにはプラットフォーム名が入っている。substrメソッドを使って先頭の3文字を抜き出して判別する。Windowsの場合は「Win」と比較すればよい。

```
<SCRIPT LANGUAGE="JavaScript">
function checkos() {
  if (navigator.platform.substr(0,3) == "Win")
    location.href="tipswin.html";
  else alert("Windowsではありません。");
}
</SCRIPT>
<A HREF="javascript:checkos();">HTML.....</A>
```



正解者: 熊本芳朗、杉本敬治、azuma、いのうえ、佐伯衛、田中博英、堀江、鹿倉隆、うおまさ@home、廣瀬道雄、齊藤貴志、阿部香(敬称略)

日本語入力システムを制御する



Questionnaire - Microsoft Internet Explorer

HTML TIPS & TRICKS #27

Questionnaire

いかがでしたでしょうか。感想を自由にお答え下さい。

名前
山田太郎

メールアドレス(半角で入力してください)
ip-cdrom@impress.co.jp

ホームページアドレス(半角で入力してください)
http://internet.impress.co.jp/

感想
IE 5.0では日本語環境のサポートが進んでいますね。

ページが表示されました



ime-mode: active



ime-mode: inactive



ime-mode: disabled

今月ついに正式版が公開されたIE 5.0の最新のTIPSをお届けしよう。フォーム内のテキスト入力欄に文字を入力する際に、日本語入力システム(IME)を制御するというものだ。左のサンプルではいくつかテキスト入力欄が並んでいるが「名前」の欄を選ぶと入力モードが全角ひらがなになり、「メールアドレス」の欄を選ぶと半角英数字の直接入力になる。日本語入力システムを禁止して、ユーザーに全角では入力させないようにもできる。アンケートのページを作るときなどにたいへん役に立つ機能だ。IE 5.0から登場した新しいスタイルシートを使った簡単なTIPSなので、さっそく自分のページで試してみよう。



```
<INPUT TYPE="text" NAME="url" STYLE="ime-mode:disabled;">
```

```
<TEXTAREA ROWS="5" COLS="80" NAME="kanso"
STYLE="ime-mode:active;"></TEXTAREA>
```

Point

IE 5.0のスタイルシートに新しく「ime-mode」プロパティが追加された。このプロパティを指定すると日本語入力システムを制御できる。当然だが「TYPE="text"」を指定した<INPUT>タグや<TEXTAREA>タグといったテキスト入力欄でこのプロパティを指定しないと意味がない。

ime-mode プロパティには、次の4つの値を指定できる。

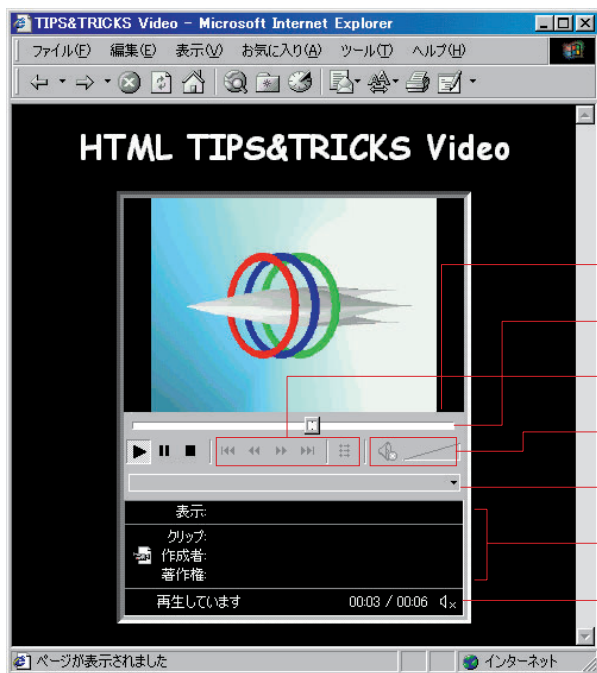
auto	自動設定
active	日本語入力システムの起動
inactive	日本語入力システムの停止 (あとで起動可能)
disabled	日本語入力システムの停止 (あとで起動不可)

「auto」を指定すると、テキスト入力欄にフォーカスを合わせる前の日本語入力システムの状態をそのまま引き継ぐ。「active」を指定すると、以前の状態に関係なく文字を入力するときに日本語入力システムが起動するようになる。通常は「全角ひらがな」になる。キーボードやマウスを使わなくても自動的に日本語入力になるのだ。逆に、日本語入力ができないようにするには「inactive」か「disabled」を指定すればいい。「inactive」と「disabled」の違いは、ユーザーが自分で日本語入力を再び起動できるかできないかだ。「inactive」を指定すると半角入力の状態からキーボードやマウスで再び日本語入力モードにできるが、「disabled」を指定したテキスト入力欄にフォーカスがあると日本語入力システムがいったい起動できなくなる。

サンプルの「ホームページアドレス」のように、半角文字しか使わない欄には「disabled」を指定すればいいだろう。これによって半角文字が必要な欄に全角文字を入力するという間違いが防げる。逆に、日本語を入力させる欄には「active」を指定してあらかじめ切り替えておけば、ユーザーが自分で切り替える手間が省ける。このようにテキスト入力欄によってime-mode プロパティの値を変えれば、日本語入力システムの起動と停止を自動的に行える。

3月号で紹介した<RUBY>タグのように、IE 5.0では日本語環境をサポートする機能が増えた。入力欄で半角と全角を頻繁に切り替える必要があるフォームを作るときにはこのTIPSを活用してみよう。

メディアプレーヤーを制御する



- ShowControls
- ShowTracker
- ShowPositionControls
- ShowAudioControls
- ShowGotoBar
- ShowDisplay
- ShowStatusBar



1998年3月号のこのコーナーでActiveXコントロールを使ってサウンド再生を制御するTIPSを紹介したのを覚えているだろうか？ 現在マイクロソフトのメディアファイル再生用のコンポーネントは、ウィンドウズメディアプレーヤーとして更に進化を遂げた。ASF(MPEG-4)、RealAudio4、RealVideo4、MIDI、AVI、WAV、MPEG-1、MPEG-2、QuickTime、SND、AU、MP3など実に多くのファイル形式に対応したメディアプレーヤーは、IE 5からは標準コンポーネントとなった。IE 4でも、マイクロソフトのサイトからダウンロードすれば利用できる。今回はメディアプレーヤーの基本的な使い方を紹介しよう。



```
<OBJECT CLASSID="CLSID:22D6F312-B0F6-11D0-94AB-0080C74C7E95">
  <PARAM NAME="FileName" VALUE="media.mpg">
  <PARAM NAME="ShowControls" VALUE="True">
  <PARAM NAME="ShowTracker" VALUE="True">
  <PARAM NAME="ShowDisplay" VALUE="True">
  <PARAM NAME="ShowGotoBar" VALUE="True">
  <PARAM NAME="ShowStatusBar" VALUE="True">
</OBJECT>
```

Point

ウィンドウズメディアプレーヤーを使ってファイルを再生するのにもっとも簡単な方法は、次のように<A>タグでファイルにリンクを張ることだ。

```
<A HREF="media.mpg">.....</A>
```

ただしこの方法ではメディアプレーヤーはブラウザの外部ソフトとして起動されてしまう。ページの中に埋め込んで表示したい場合にはタグのDYNASRC属性を使う。

```
<IMG START=1 LOOP=0 DYNASRC="media.mpg">
```

しかし、この方法だとメディアプレーヤーの機能の一部しか利用できない。

ページの中にビデオを表示し、制御機能もフル活用したいという場合には、<OBJECT>タグまたは<EMBED>タグを使用する。今回は<OBJECT>タグの解説をしてみたい。基本的なところは普通のActiveXコントロールの組み込みと同じだ。<OBJECT>タグのCLASSID属性でメディアプレーヤーのクラスIDを指定する。付録CD-ROMに収録したサンプルのHTMLをテキストエディターで開いて、コピー＆ペーストで自分のHTMLに<OBJECT>タグをコピーしてほしい。

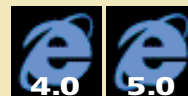
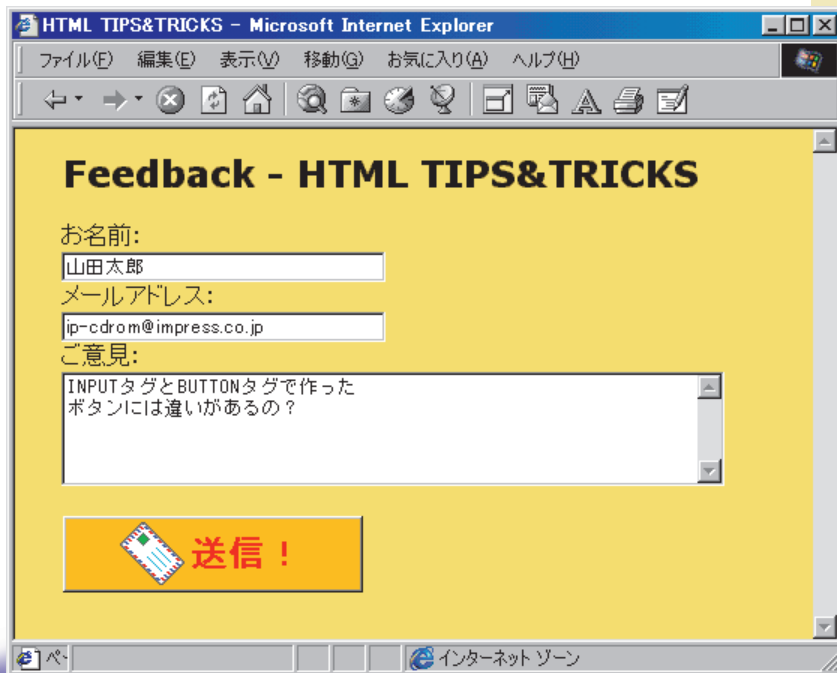
次に、このコントロールのパラメータを指定する。次のパラメータを「True」または「False」に設定すれば、ビデオの下にある制御パネルの表示と非表示の切り替えが可能だ。

ShowControls コントロールバー

ShowAudioControls 音量コントロール
ShowPositionControls 早送り、巻き戻しボタンなど
ShowTracker 再生位置スライドバー
ShowDisplay タイトル・著作権領域
ShowGotoBar 関連リンクバー
ShowStatusBar ステータスバー

ShowAudioControlsとShowPositionControlsの2つのパラメータは、ShowControlsに含まれる。またShowGotoBarとShowStatusBarの2つはデフォルトでは非表示になっているので、「True」に設定すれば、すべての制御パネルや情報パネルを表示させられる。ミュートや音量調節、早送りなど多彩な機能が使用できるようになるので、画面サイズに余裕があればすべて表示させてみてはどうだろうか。

ボタンにアイコンを付ける



TIPS1の日本語入力システムの制御に続き、フォームを使ったテクニックをもう1つ紹介しよう。左のサンプルのフォームには封筒のアイコンが描かれたボタンがある。このボタンを押すと、アイコンごとボタンがへこみフォームの内容が送信される。このようにフォームの意味を表すわかりやすい絵を付ければ、ただのボタンよりもずっと押してもらいやすくなるのではないだろうか。しかけはいたって簡単だ。先月号のTIPS 3のようにスタイルシートの枠線を操作しているわけではない。ボタン全体を画像にしているわけでもない。だれでも知っているタグともう1つ何かを組み合わせればすぐにできあがる。



```
<BUTTON TYPE="SUBMIT"
  STYLE="width: 200px; background-color: #FFC000;">
  <IMG SRC="MAIL.GIF" ALIGN="absmiddle">
  <FONT SIZE=5 COLOR="#FF0000"><B>送信! </B></FONT>
</BUTTON>
```

Point

せっかくきれいなページを作ったのに、フォームのボタンのデザインが変えられなくて困ることがあるだろう。このテクニックを使えば、地味なフォームもぐっとわかりやすく見栄えのするものになる。

このサンプルのボタンは<INPUT>タグの代わりに<BUTTON>タグを使っている。<BUTTON>タグのTYPE属性の値として「SUBMIT」(送信)、「RESET」(リセット)、「BUTTON」(ただのボタン)のどれかを指定すれば、<INPUT>タグのTYPE属性で指定した場合と同じ機能を持つボタンが作成できる。<INPUT>タグではVALUE属性でボタンの上に表示される文字を指定するが、<BUTTON>タグでは<BUTTON> ~ </BUTTON>に囲まれた文字がボタンの上に表示される。

それだけなら<INPUT>タグと何も変わらないように思えるかもしれないが、<BUTTON> ~ </BUTTON>の間には、普通の文字だけでなくタグも書けるのだ。上のサンプルでは、タグを使って文字を大きめにし、赤い色を付けている。
タグを使えばボタンの上のテキストに改行を入れられる。<MARQUEE>タグを使えばボタンの上で文字の自動スクロールもできる。

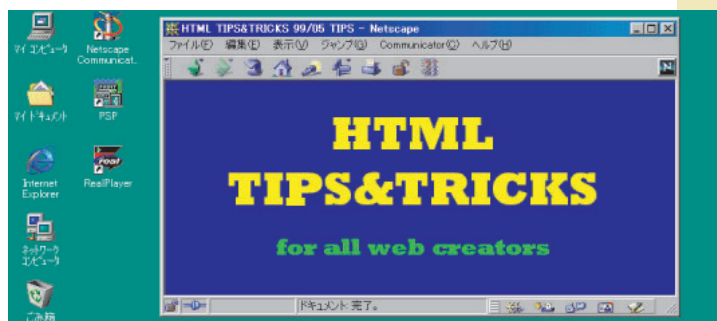
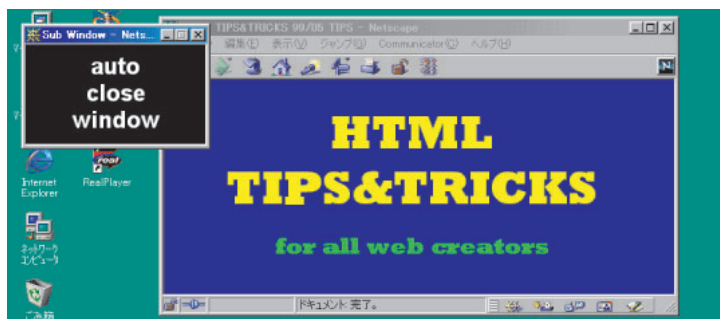
ということは、当然タグも使えるはずだ。背景を透過させたGIFファイルを用意して、タグを<BUTTON> ~ </BUTTON>の間に置く。タグの横には説明用の文字を並べる。これでデスクトップ上のアイコンやウィンドウのツールバーのようなわかりやすいボタンができあがる。画像にアニメーションGIFを使えばさらに楽しいボタンになるだろう。

1月号の「フォームをデザインする」で紹介したように、フォームの部品にもスタイルシートを指定できる。<BUTTON>タグにスタイルシートのbackground-colorやbackground-imageを指定すれば、ボタンの背景に色を付けたり画像を敷いたりすることも可能だ。たとえば背景画像を指定するには次のようにする。

```
<BUTTON STYLE="background-image:
  url(back.gif)">
```

このサンプルはIE 4以上でしか動作しないが、<BUTTON>タグはHTML 4.0に採用されているので、ネットスケープコミュニケーターの次期バージョン5ではサポートされるようになるだろう。

ウィンドウを自動的に閉じる



```
<BODY onBlur="window.close();">
```

Point

まずはサンプルの2つの画面を見てほしい。上の画面では手前に小さいウィンドウが表示されているが、下の画面ではそれが消えている。小さいウィンドウが別のウィンドウの後ろに回り込んだわけでも、「×」ボタンを押してウィンドウを閉じたわけでもない。スクリプトを使って、ウィンドウが非アクティブな状態になったら自動的に閉じるようにしているのだ。「非アクティブなウィンドウ」とは、ウィンドウズならタスクバーに表示されているアプリケーション(ウィンドウ)の中で、その時点では前面で使われていないウィンドウのことだ。それでは、このスクリプトの説明をしよう。

上のスクリプトは、新しく開かれるウィンドウのHTMLに記述するものだ。<BODY>タグの「onBlur」は、「ウィンドウが非アクティブになったとき」を表し、「window.close();」は「ウィンドウを閉じ

ろ」ということを表している。このTIPSは、たったこれだけのスクリプトを記述するだけで実行できてしまうのだ。最近、このコーナーの内容が難しくて敬遠気味だった読者には、ぜひ試してほしい。

単純にウィンドウを閉じるだけでなく、閉じる前に何かの処理をしたい場合は、次のように<SCRIPT>タグを作って「onBlur」から呼び出される関数を作成し、関数の中で「window.close();」を呼ぶ。

```
<BODY onBlur="closeWin();">
<SCRIPT LANGUAGE="JavaScript">
function closeWin(){
  (目的の処理)
  window.close();
}
</SCRIPT>
```

なお、ウィンドウを閉じるこのスクリプトは、「window」を省略して単に「close()」だけでも動作する。

最後に、もうご存じだとは思いますが、ページが読み込まれたときに小さいウィンドウを新しく開くためのスクリプトも紹介しておこう。

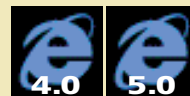
```
<BODY onLoad="window.open
('sub.html',
'sub','width=200,height=110');">
```

IEのようにブラウザーによっては、スクリプトを使って開いたウィンドウは「window.close();」で自動的に閉じられるが、TARGET属性を使って開いたウィンドウでは閉じる前にメッセージが表示される場合もある。



HTMLではTARGET属性に「_blank」を指定してリンク先のページを新しく開いたウィンドウに表示させるテクニックがある。また、同じようにJavaScriptの「open」メソッドで2つ目のサブウィンドウにアナウンスなどを表示させることも可能だ。このコーナーの読者なら、これらのテクニックはもうご存じだろう。だが、新しく開いたウィンドウはすぐ邪魔になって困るという人はいないだろうか？ ウィンドウが必要なくなったら「×」ボタンを押して閉じればいいのだが、それもなかなか面倒だ。ここでは訪問者の手間を省かせるために、開いたウィンドウを自動的に閉じるスクリプトをご紹介します。

Waveフィルターでアニメーション



99年1月号と2月号に続き、フィルターとスクリプトを組み合わせたアニメーションをご紹介します。今回取り上げるフィルターはWaveフィルターで、その名の通り文字や画像に波状にゆがむような効果を与えるものだ。スクリプトで一定時間ごとにWaveフィルターの値を変更すれば、文字や画像がうねるようなアニメーションを作り出すことができる。原理は今までこの連載でご何度も紹介してきたアニメーションの方法とほとんど同じなのでそれほど難しくはないだろう。また、今回は複数のタイマーを使って2つ以上の文字や画像に対して同時に別のアニメーション効果を与える方法についても見てみよう。

1

```
<SCRIPT LANGUAGE="JavaScript">
function Wave () {
  if (SAMPLE2.filters ["Wave"].Strength > 0) {
    SAMPLE2.filters ["Wave"].phase += 16;
    SAMPLE2.filters ["Wave"].Strength -= 1;
  } else {
    clearInterval (tid);
  }
}
function Start () {
  setInterval ("SAMPLE.filters ["Wave"].phase += 8; ", 200);
  tid = setInterval ("Wave ()", 100);
}
</SCRIPT>

<BODY onLoad="Start ();">
```

2

```
<DIV ID="SAMPLE"
  STYLE="position:absolute; left:50; top:50;
  Filter:Wave (Add=0,Freq=1,LightStrength=0,
  Phase=0,Strength=8);">
<IMG SRC="FLAG.GIF" WIDTH="210" HEIGHT="170">
</DIV>
<DIV ID="SAMPLE2"
  STYLE="position:absolute; top:300; text-align:center;
  Filter:Wave (Add=0,Freq=5,LightStrength=0,
  Phase=0,Strength=100);">
<IMG SRC="QUEST.GIF" WIDTH="155" HEIGHT="150">
</DIV>
```

Point

Wave フィルターには次のようなパラメータがある。

Add	元のオブジェクトとの合成 (0:合成しない、1:合成)
Freq	波の数
LightStrength	波に当たる光の強さ
Phase	波の始まる位置
Strength	波の幅

アニメーションの方法はこれまでご紹介してきたものと同じで、あらかじめ文字や画像などのオブジェクトにフィルターをかけてからスクリプトを使ってパラメータを一定時間ごとに変えていけばいい。ここで注意することは、Addパラメータを必ず0にすることだ。1にすると元のオブジェクトと一緒に表示されてしまう。それ以外のパラメータは必要

に応じて調節する。ソースの②は、2つの画像にフィルターを設定したものだ。

そして、ソースの①のようにスクリプトでPhaseパラメータを一定時間ごとに変えていけば、まるで画像がうねっているようなアニメーションができる。これだけでも十分だが、これに加えて①のAのようにStrengthパラメータやFreqパラメータを変化させると、崩れた状態から時間がたつにつれてだんだん元に戻っていくアニメーションになる。もちろんその逆も可能だ。LightStrengthパラメータを変えると波に当たる光の強さが変わる。このようにWaveフィルターを使えば、さまざまなバリエーションのあるアニメーション効果を作成できる。

1月号や2月号では、1つのオブジェクトに対してアニメーション効果を加えていたが、このサンプルの

ように複数のオブジェクトに効果を加えるには、それぞれのオブジェクト用に関数を用意し、複数のタイマーを使って別々に関数を実行すればいい。1つのタイマーを使って複数の関数をまとめて実行してもいいが、タイマーを複数用意すればオブジェクトによってインターバルを変えられるし、途中でアニメーションを終了するオブジェクトがある場合には、①のBのようにタイマーIDをクリアすればいいだけなので、スクリプトがスッキリとした形になる。

なお、タイマーを設定する場合は、次のように関数を用意せずに変更部分をそのまま書けることも付け加えておこう。

```
setInterval ("SAMPLE.filters ["Wave"].
  phase += 8; ", 200);
```

HTMLパズルに挑戦しよう

隠されたトリックを解き明かせ！



今月のテーマ

・ロード時の動作を制する・

今回のパズルでは、ページがロードされたとき、つまり読み込まれたときにさまざまな効果を出すスクリプトについて考えていただく。このコーナーでは今まで多くのパズルを出題してきたが、スクリプトを使ったものは初心者にはやや難しかったかもしれない。そこで1~2行の短いスクリプトで効果が出せるパズルを2問用意してみた。今回は正解者欄にあなたの名前を載せる絶好のチャンスだ！トリックがわかったらすぐに解答を送ってほしい。正解者には抽選で1名にオリジナル折りたたみ傘をプレゼントさせていただく。なお、正解は来月のこのコーナーで発表する。それでは頭をやわらかくして、今月のテーマ“ロード時の動作を制する”にチャレンジ！

「HTMLパズルに挑戦しよう」

宛先

正解がわかった人も、わからなかった人も、ご意見、ご感想など何でもOK、次の宛先にメールしよう。用件の欄には必ず

HTML TIPS & TRICKS

の1行を忘れずに。あなたの挑戦を待つ！

✉ ip-cdrom@impress.co.jp

なお、締め切りは4月10日とさせていただきます。



QUESTION 1

1 フレームをクリアせよ！



フレームを使ってリンクを設定すると、普通はリンクのあるフレームにページが読み込まれてしまう。自分のページに他人からフレームを使ってリンクされると、自分のページが他人のページの一部に見えてしまうことがある。フレームは登場してから長い間そうしたトラブルの種になってきたが、第1問ではこのことにスポットを当ててみた。分割されたフレームの片方に自分のページが読み込まれたときに、即座にフレームを解除して自分のページを全面に表示させる方法を考えてほしい。最近ではフレームを悪用して他人のページのデータを盗めるブラウザのバグも報告されているので、こうした技を知っておくといいたいだろう。

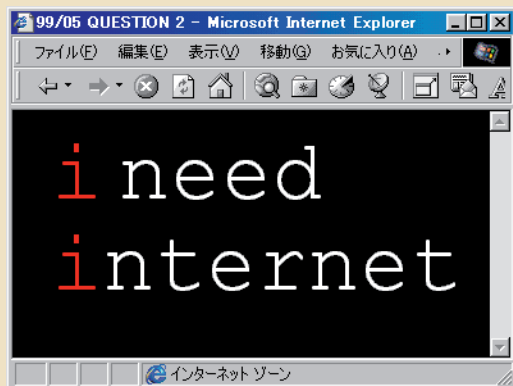


自分自身のフレームは「self」、最上位は「top」...



QUESTION 2

2 ブラウザーのサイズを指定せよ！



ホームページを作っているみなさんは、自分のページのデザインやレイアウトにはかなり気を使っているだろう。最近ではスタイルシートを取り入れているページも多くなり、レイアウトが大幅に崩れているページを見かけることは少なくなってきた。しかし、テキストなどの改行位置はブラウザのサイズに依存してしまうので、レイアウトを完全に指定することはできない。そこで2問目はページが読み込まれたときにブラウザのサイズを変更して、作者の意図したとおりのレイアウトを完璧に実現する方法を考えてほしい。IEとナビゲーターでは実行結果に違いが出てしまうが、スクリプトの基本的な部分が合っていれば正解とする。



サイズの変更を英語で言えば、「リサイズ」だ.....

[インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレス R&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接的および間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

株式会社**インプレスR&D**

All-in-One INTERNET magazine 編集部

im-info@impress.co.jp